

類似度判定ソフトによる事前確認について

主任審査員(予定者)は、博士学位請求論文の受理申請を行う際に必ず、類似度判定ソフト(iThenticate)を利用して学位請求論文の事前内容確認を行ってください。iThenticate による内容確認手順は以下のとおりです。

準 備

1. 類似度判定ソフトの ID/Password の取得

類似度判定ソフト(iThenticate)の利用には、専用の ID/Password が必要です。ID を持っていない場合やパスワードを忘れた場合には、以下の手順で ID 取得・パスワード再発行を行ってください。

▼ID を持っていない場合：iThenticate の利用申請

- ①Waseda-net ポータルにログイン
- ②画面右側メニューの”IT ヘルプデスク”のリンクをクリック
- ③問合せ一覧画面から” iThenticate 利用申請”の”申請画面”をクリック
- ④利用申請を記入し、【確認/Confirmation】 ボタンを押す
- ⑤数日以内に ID 発行連絡がメールで届く。記載内容に従ってログインする

▼パスワードを忘れた場合：パスワード再発行手続

- ①ログイン画面を開く https://app.ithenticate.com/en_us/login
- ②”Forgot password”のリンクをクリック
- ③Email の欄にメールアドレス (Waseda-net ID) を入力
- ④メールアドレス宛にパスワード再発行通知が届く。記載内容に従ってログインする

2. 博士学位請求論文のデータ準備

類似度判定可能な電子ファイル形式は以下のとおりです。博士学位請求論文のデータを対応しているファイル形式で用意してください (PDF 形式の場合は、テキストデータを含む形式にする必要があります)。

iThenticate で対応しているファイル形式：

PDF* / Word(.doc, docx) / Word XML / Text(.txt) / PostScript / HTML / WordPerfect (WPD) / RTF

確認実施

類似度判定ソフトにログインし、対象論文の類似度判定を行ってください。詳細手順は、別紙「iThenticate 利用方法について」を参照してください。また、以下のような場合では、剽窃ではないにもかかわらず類似度が高いと判定されることがあります。そのため、類似度判定結果をもとに、各論文を個別に精査・確認をする必要があります。

- a) 既にインターネット公開している著者自身の他の論文と一致する場合
- b) 他の論文からの引用と明記しているが、引用表現方法によって引用と判定されない場合
- c) 古典文献の引用や一般的な事項・表現方法が他の論文と一致している場合

博士学位論文受理申請

博士学位論文の受理申請時に提出する、「博士学位請求論文の確認報告書」に類似度判定ソフトによる確認結果を記載してください。

以 上

iThenticate 利用方法について

本資料では、研究論文の剽窃チェックにあたって利用する iThenticate の各種機能について説明します。なお、iThenticate がチェック対象とする契約データベース*は、EBSCOHOST、Elsevier、IEEE、Nature、ProQuest、Wiley Blackwell をはじめとした大手は網羅され、機関リポジトリも Open Access Initiative が収集している書誌情報を中心にフルテキストを収集しており、かなり広範な領域をカバーしています。しかし、特に日本語の機関リポジトリを中心に漏れがあり、完全に盗用や剽窃をチェックできるわけではないので、iThenticate による類似度判定結果は参考情報として扱い、十分な個別チェックの必要があります。

*iThenticate がチェック対象とする契約データベース： <http://www.ithenticate.com/content>

1. iThenticate へのログイン方法

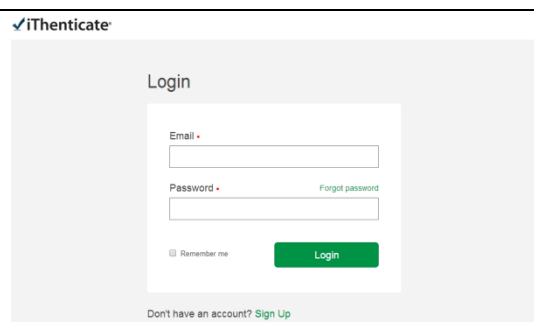
利用 ID と PW は個別に Waseda-net メール宛に送られます。ログインサイトより、利用 ID と PW を入力して利用します。

ログインサイト URL:

https://app.ithenticate.com/en_us/login

※利用 ID と PW が届かず、個別に利用申請が必要な場合があります。その場合は、Waseda-net ポータルにログイン後、以下のメニューより申請してください。

右メニュー「IT センター ヘルプデスク」から
研究支援 > iThenticate 利用申請 申請画面



2. チェックするファイルのアップロード方法

チェックに対応しているファイル形式は以下の通りで、大半の形式に対応しています。しかし、論文をスキャンして画像として取り込んだだけの PDF では類似度判定ができません。紙媒体の論文をスキャンして取り込んだものをチェックする場合は、スキャンの際に Adobe Acrobat Pro などを利用し、テキスト埋め込みの PDF に変換する必要があります。また、セキュリティ設定が有効な PDF（プロパティが「文章の変更を許可しない」等）の場合、判定に失敗することがあります。セキュリティ設定を外すか、セキュリティのかかっていないファイルを用意するようにしてください。

iThenticate で対応しているファイル形式：

PDF* / Word(.doc,docx) / Word XML / Text(.txt) / PostScript / HTML / WordPerfect (WPD) / RTF

紙の文書をスキャンして編集および検索可能な PDF にする方法（ご参考）：

<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/convert-jpeg-scan-ocr-to-pdf.html>

■ファイルのアップロード方法

1. 右メニューより「Upload a file」をクリックします。



2. 「ファイルを選択」より類似度判定を行いたいファイルを選択します。

管理をしやすくするために、必ず、論文のタイトルや著者の名前を記入欄に入力して下さい。同時に複数のファイルを判定したい場合、「Add another file」をクリックすると、入力欄が増えます。

必要事項が入力出来たら「Upload」をクリックします。

Upload a file [Return to Folders](#)

Upload to folder
My Folders - My Documents

Upload #1

What is the document title

What is the author's first name

What is the author's last name

Browse for the file you would like to submit
ファイルを選択 選択されていません

+ Add another file

Upload Cancel

3. ファイルのアップロードが完了し、判定作業が自動で開始されます。

My Documents

Title	Report	Author	Processed ↓	Actions
20111014_paper4_mobile_...doc	Extracting	Fri Apr 04, 2014 12:00pm JST		
h24_ronbun_hikaku.doc 1 part - 2,552 words	4%	Fri Apr 04, 2014 11:38am JST		
h24_ronbun_form.doc 1 part - 1,726 words	2%	Fri Apr 04, 2014 11:18am JST		

4. 数分から数十分で類似度判定作業が完了し、判定結果が数字で表示されます。こちらをクリックすると詳細な判定結果を参照できます。

My Documents

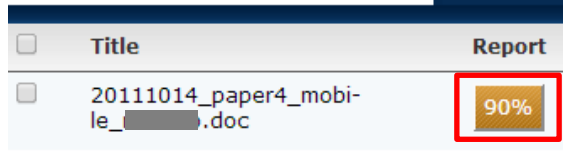
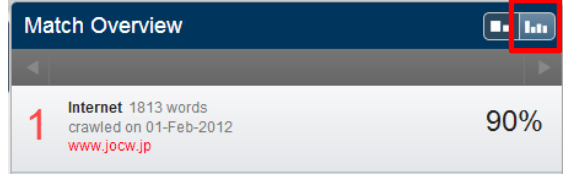
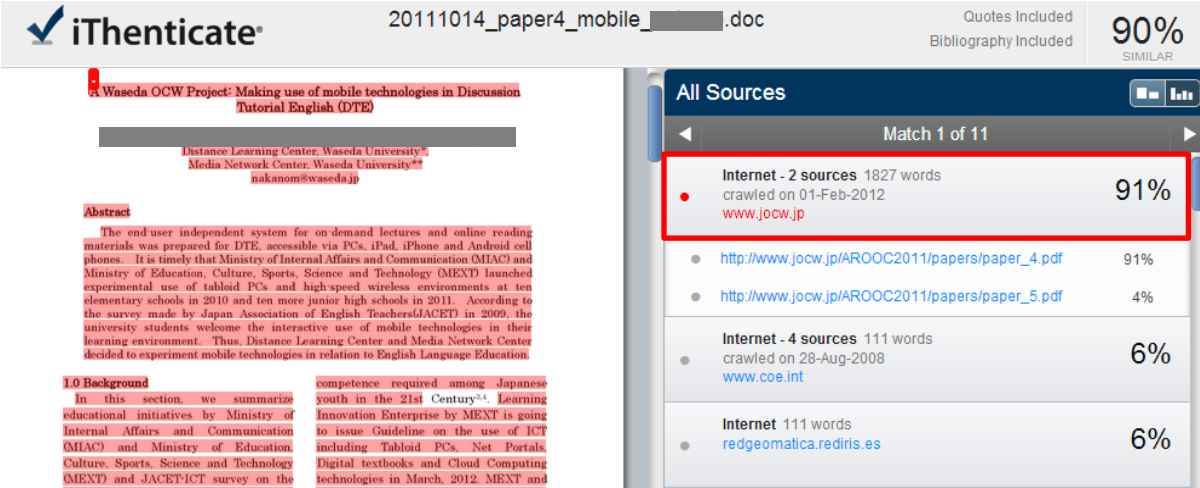
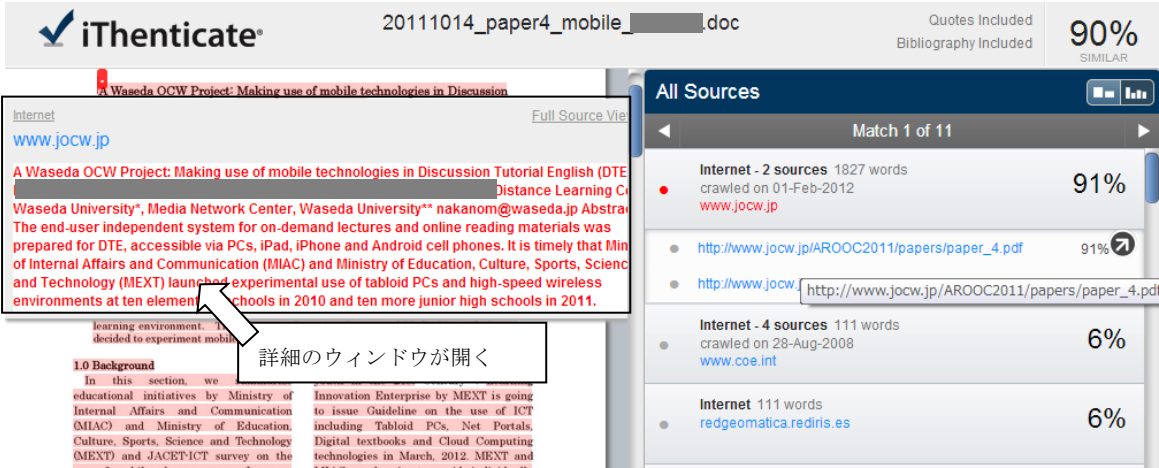
Title	Report	Author	Processed ↓	Actions
20111014_paper4_mobile_...doc	90%	Fri Apr 04, 2014 12:00pm JST		
h24_ronbun_hikaku.doc 1 part - 2,552 words	4%	Fri Apr 04, 2014 11:38am JST		
h24_ronbun_form.doc 1 part - 1,726 words	2%	Fri Apr 04, 2014 11:18am JST		

3. 除外設定のオプションについて

1) 判定結果の個別除外設定

類似度判定後に、判定結果の画面に表示されるサイトを個別に判定対象から除外（exclude）できます。特に、結果を個別に確認し、著者本人の論文・著書と思われるソースを判定対象から除外しないと正確な類似度判定結果が得られないので、注意して除外設定を行って下さい。

■類似度判定結果の確認方法（著者本人のソースでないかを確認する方法）

1. フォルダ内に入り、判定結果の数字部分（赤枠部分）をクリックします。	
2. Match Overview のモードになるので画面右側のアイコン  （赤枠部分）をクリックし、All Sources を確認できるモードにします。	
3. どの部分が類似しているのか明確に表示されます。デフォルト設定では、重複のない類似度合いの高いものが表示されます。右側 All Sources 一覧から、詳細を確認したいソースを選択します。	
4. 左側画面に、選択した詳細を確認したいソースに関する詳細のウィンドウが開き、原著からどこの箇所で、類似文書が利用されていたのか、色付きで表示できます。	
5. 詳細ウィンドウの左上のリンクをクリックすると、元の情報源が別ウィンドウで開きます。	

20111014_paper4_mobile.doc

90%

Internet
www.jocw.jp

A Waseda OCW Project: Making use of mobile technologies in Discussion Tutorial English (DTE)

Taro Waseda, Jiro Waseda, Ichiro Waseda, Saburo Waseda. Distance Learning Center, Waseda University*, Media Network Center, Waseda University** nakanom@waseda.jp

Abstract

The end-user independent system for on-demand lectures and online reading materials was prepared for DTE, accessible via PCs, iPad, iPhone and Android cell phones. It is timely that Ministry of Internal Affairs and Communication (MIAC) and Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) launched experimental use of tablet PCs and high-speed wireless environments at ten elementary schools in 2010 and ten more junior high schools in 2011.

1.0 Background

In this section, we summarize educational initiatives by Ministry of Internal Affairs and Communication (MIAC) and Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) and JACET-ICT survey on the competence required among Japanese youth in the 21st Century^{1,2}. Learning Innovation Enterprise by MEXT is going to issue Guideline on the use of ICT including Tablet PCs, Net Portals, Digital textbooks and Cloud Computing technologies in March, 2012. MEXT and

元の PDF ファイルを開くことができます。この例では、著者名から、この情報源が著者本人の自著であることが分かります。

■類似度判定結果からソースを除外する方法（著者本人の論文を除外する方法）

1. フォルダ内に入り、判定結果の数字部分をクリックし、類似度判定結果の確認画面に入ります。

20111014_paper4_mobile.doc

90%

2. 画面右側のアイコン（赤枠部分）をクリックし、All Sources モードにします。

Match Overview

1 Internet 1813 words crawled on 01-Feb-2012 www.jocw.jp 90%

3. All Sources モードで右側画面の下部にある「Exclude Sources」ボタンをクリックします。

All Sources

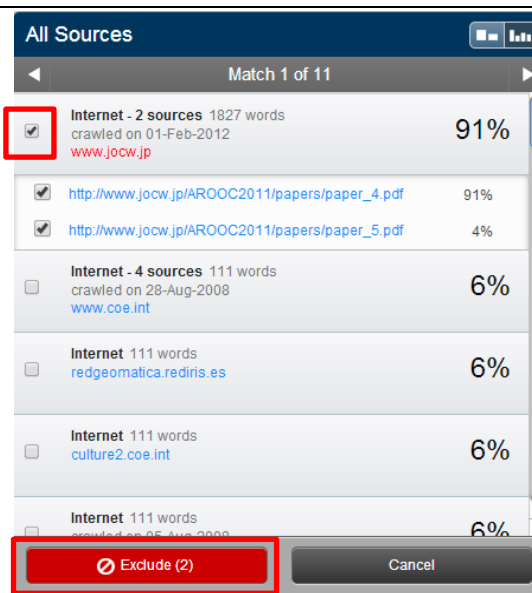
Match 1 of 11

- Internet - 2 sources 1827 words crawled on 01-Feb-2012 www.jocw.jp 91%
- http://www.jocw.jp/AROC2011/papers/paper_4.pdf 91%
- http://www.jocw.jp/AROC2011/papers/paper_5.pdf 4%
- Internet - 4 sources 111 words crawled on 28-Aug-2008 www.coe.int 6%
- redgeomatca.rediris.es 6%
- Internet 111 words culture2.coe.int 6%
- Internet 111 words culture2.coe.int 6%

Exclude Sources

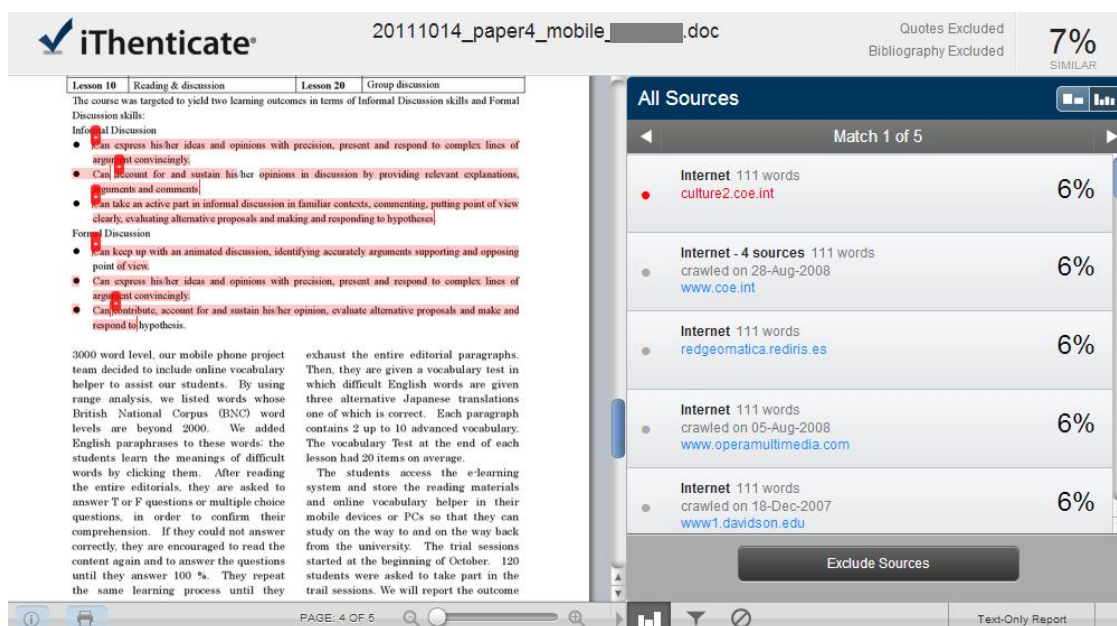
4. 各判定結果の左側にチェックボックスが表示されるので、除外したいソースにチェックを入れ、「Exclude」ボタンをクリックします。これで特定のサイトを判定対象から除外できます。

(右の例では自著と判明した論文を選択して除外しました。)

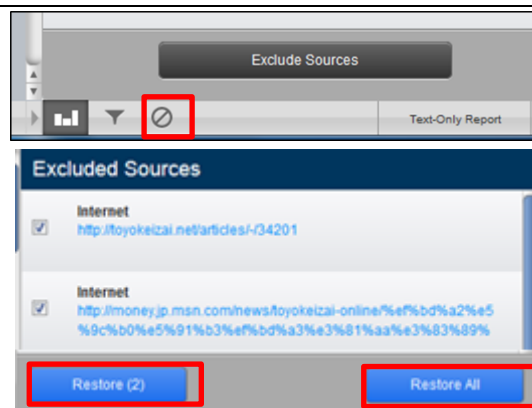


5. 除外設定はチェック結果に即時に反映され、類似度判定結果が更新されます。

下の例では自著を対象外としたことで類似度判定結果が 90%から 7%に変わりました。自著を除外した結果を基に、さらに盗用がないか精査をする必要があります。

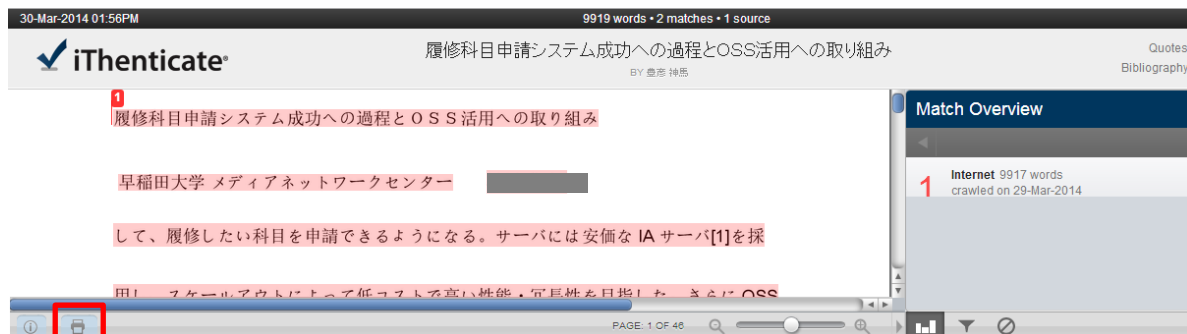


6. 除外後にも、「Exclude Sources」ボタン下にあるアイコン  をクリックすると Exclude Sources モードに切り替わり、チェックボックスと Restore ボタンにより、再度除外したソースを戻すことも可能です。(Restore All ボタンをクリックすることで、一度に全てのソースを戻すことも可能です)



4. チェック結果の PDF ダウンロードについて

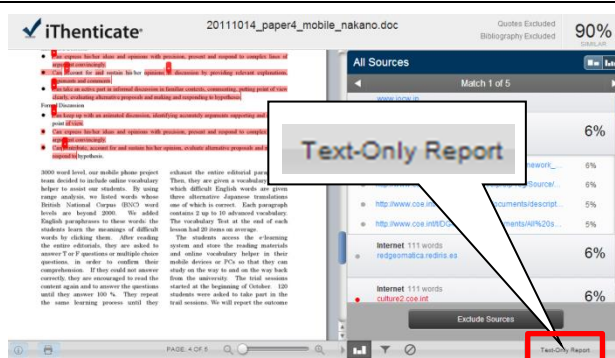
除外設定を行ったうえでチェック結果を保存するには、画面左下のプリンタボタン  を押すことにより、チェック結果を PDF としてダウンロードできます（処理には多少時間がかかります）。



■類似度判定結果を報告書にコピー＆ペーストする方法（Text only report への切り替え方）

類似度判定結果は、デフォルトでは“Document viewer”モードで確認しますが、判定結果のテキストコピーができません。報告書に結果をコピーする場合などは、コピー＆ペーストが可能な“Text only report”モードに切り替えることをお勧めします。

判定結果画面の右下にある「Text-Only Report」ボタンをクリックします。



“Text only report”モードに切り替わります。このモードでは左側画面を選択・コピーをすることが可能です。

左上の「Document Viewer」ボタンをクリックすると、“Document viewer”モードに戻ります。

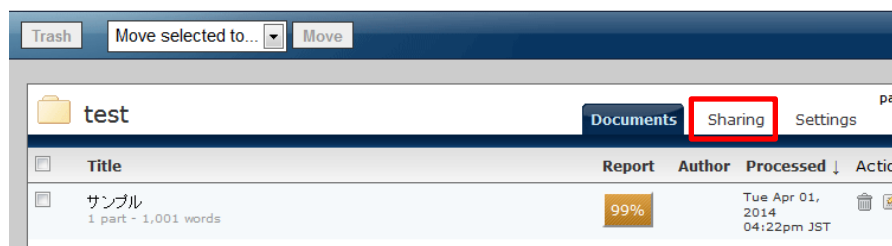


5. その他本システムで対応している機能

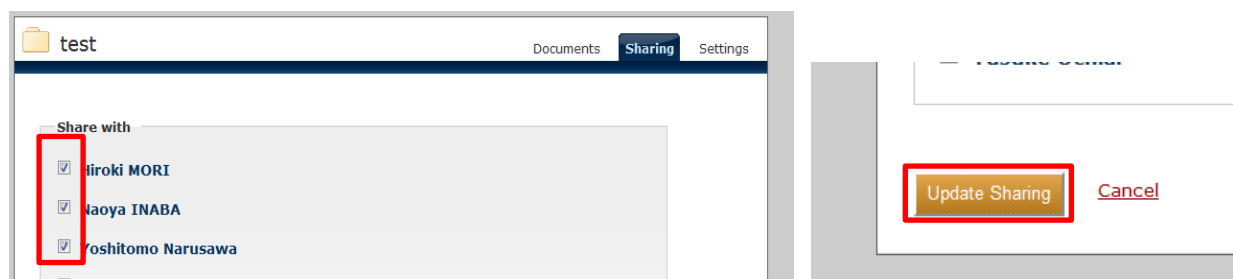
1) 「Sharing」機能：

特定のユーザーとフォルダや判定結果を共有できます。設定方法は以下のとおりです。

①共有したいフォルダに移動し、Sharing のタブをクリックします。



②フォルダの共有が可能なユーザーが一覧で表示されるので、共有をしたいユーザーにチェックを入れ、一覧の一番下の「Update Sharing」のボタンをクリックします。これでフォルダの中身が共有されます。後からチェックを外すことも可能です。



2) 論文単位で一括の除外設定：

論文単位で、一括の除外設定が可能です。ただし、いずれの設定も英語の文章への対応を想定したものとなっており、日本語の文章への対応は十分ではなく、正確には類似度判定結果に反映されない点を留意したうえで、あくまで参考程度でこれらの一括除外設定は利用して下さい。

【設定可能な除外設定】

Exclude Quotes	引用部分を除外するかどうかの設定。
Exclude bibliography	参考文献を除外するかどうかの設定。
Exclude Phrases	あらかじめ設定した特別なフレーズの除外を設定。ただし設定できるフレーズは英語のみで、8words 以上である必要あり。
Exclude Small Matches*	提出したファイル内に繰り返し使用される数語の同じ文言をあらかじめ閾値を設定することでチェック対象から除外できる設定。
Exclude Small Sources*	あらかじめ閾値を設定することで、(類似と判定される) 文字数または割合が微細なソースをチェック対象から除外できる設定。

*Exclude Small Matches と Exclude Small Sources の違いについて

例えば、200 文字の文章中、2 つのソースからのマッチが合わせて 5 箇所あるとします。

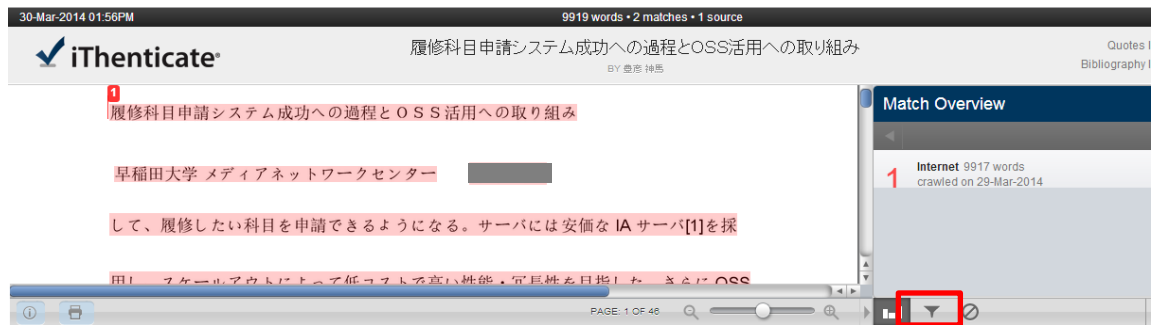
5 つのマッチの内訳はソース A から 2 語、3 語、10 語、ソース B から 2 語、2 語とした場合、Exclude Small Matches にて 5 語以下と設定した場合、ソース A の 10 語以外のマッチが該当し一致の対象から外されます。一方、Exclude Small Source にて 5 語以下と設定した場合には、ソース B からのマッチ 2 つが 5 語以下となりソース B のみ一致の対象から外されます。

【追加で設定可能なオプション】

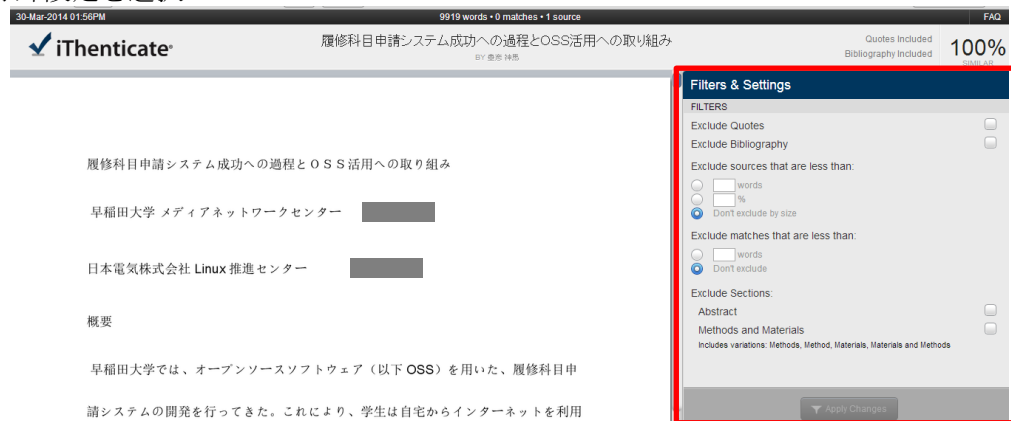
Abstract	抄録を判定対象から除外するかどうかの設定。
Methods and Materials	メソッドやマテリアルの記載を判定対象から除外するかの設定。
Report Filters	特定の URL を判定対象から除外できる設定。

■論文単位でのオプション除外設定方法

1. 判定結果詳細画面の右下  をクリック



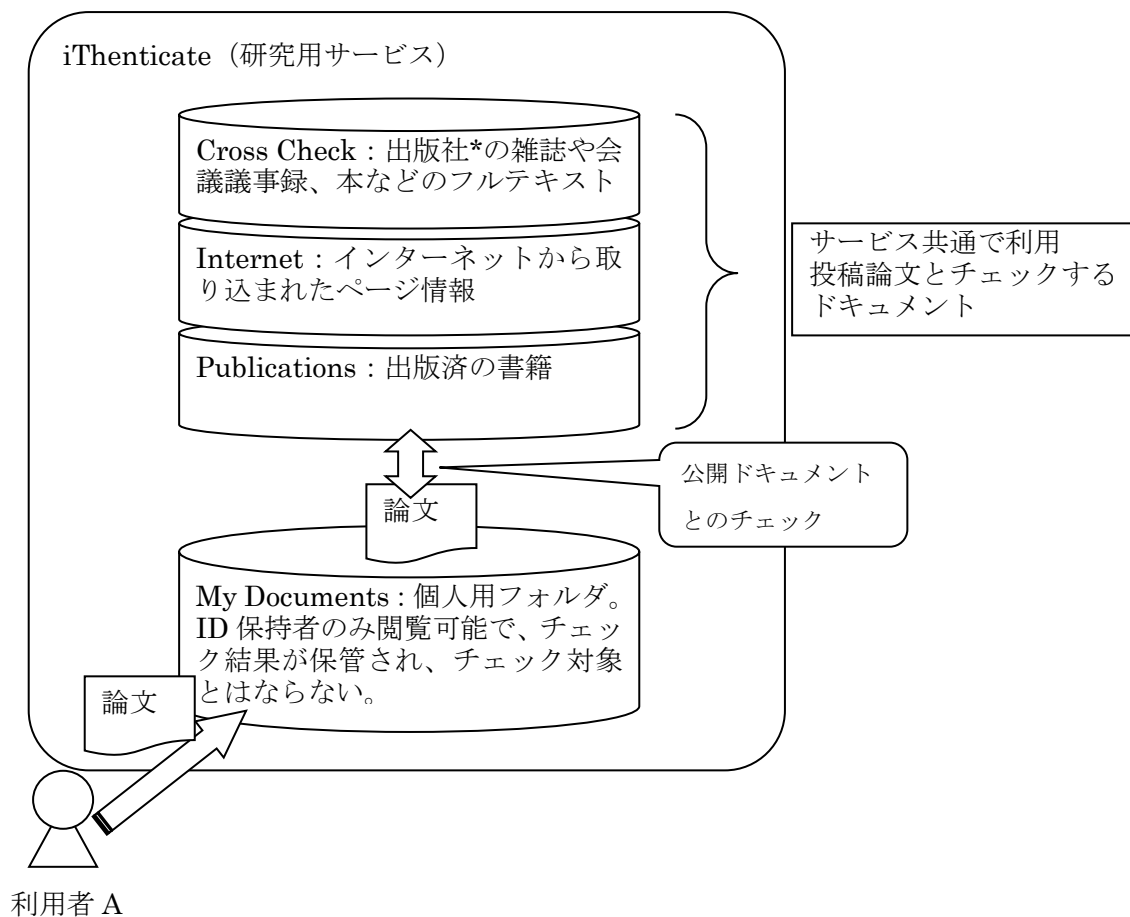
2. 除外設定を選択



3) メールでのアラート機能：

類似度の割合が事前に設定したある%を超えた場合に、ユーザー自身にメールを送信することができます。メールを送信する頻度も設定可能です。

6. iTenticate ファイルの動作イメージ



*Cross Check の対象となる出版社 : http://www.crossref.org/crosscheck_members.html

7. 本件に関する問い合わせ先

担当 : 情報企画部 本田、鳴澤

e-mail : iTenticate@list.waseda.jp

TEL : 外線 03-3204-8964、内線 71-2919

以 上